



来場した380人の見送りに立ち笑顔で握手を交わす丹野さん

市は「認知症にやさしい地域づくりフォーラム」認知症の人の権利擁護を考える、誰もが安心して暮らせる地域を目指して」を12月23日、市文化会館（Zホール）で開催しました。

39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんが、基調講演の講師とパネルディスカッションの助言者を務め「できることまで奪わないで」「失敗しても怒られない環境が大切」と、周囲が対等なパートナーとして認知症の人に寄り添っていくことの大切さを訴えました。

## 「認知症の当事者が体験と想いを語る」



官民連携による網の目の細かい支援を訴える茂氏

市は「いのちの大切さを考える講演会」を12月7日、市文化会館（Zホール）で開催しました。市の保健師が自殺の現状と本市の取り組みを報告したほか、福井県の東尋坊で自殺防止活動に取り組むNPO法人「心に響く文庫・編集局」代表理事の茂幸雄氏が「東尋坊・命の灯台から みんな生きたいんや」と題し講演しました。

「自殺は救うことができる命」「頑張れの言葉は本人にとって刃になり得る」など、実例を踏まえながらの茂氏の話に、来場者250人は熱心に耳を傾けていました。

## 「悩んでいる人の声に耳を傾けて」



玉串を奉納し安全を祈願する小沢市長

市は、越路スキー場、ひめかゆスキー場、国見平スキー場の今シーズンのオープンを迎えた12月19日、3場一斉に安全祈願祭を行いました。

国見平スキー場では、小沢昌記市長など参列者のもと、今シーズン新たに導入する圧雪車の魂入れや玉串奉納が行われ、来場者と施設の安全を祈願しました。

3スキー場では、市内小中学生への用具の無料レンタルや3場いずれかのシーズン券購入者へのリフト券の割引といった特典を準備。本格的なシーズンへ備えます。

## 「市内3スキー場で安全を祈願」



試験飛行と調整を重ねテイクオフ！

「神（紙）飛行機グランプリ水沢南カッブ」が12月13日、水沢南地区センターで行われました。市が開講する「協働のまちづくりアカデミー」2班が、親子で楽しく世代間交流をしながら地域活動に参画するきっかけにと企画。小学校低・中・高学年の部とファミリーの部で、紙飛行機の飛行距離と滞空時間を競いました。

新年を前に餅つきも行われ、同アカデミー2班の萩原邦夫リーダーは「楽しい思い出が、将来まちづくりに携わるきっかけになってくれれば」と期待を寄せました。

## 「親子参加でまちづくりのきっかけに」



市が実現に向けて取り組んでいる国際リニアコライダー（以下、ILC）計画について最新情報をお届けします

# 希望のひかり 第33回

ILCが実現すると、世界中から数千人の研究者などが集まると試算されており、国際化に向けた対応が必要になります。今回は、ILCを見据えた本市における「地域の国際化」の取り組みを紹介します。

## 市HPに外国人向け生活情報コーナーを開設

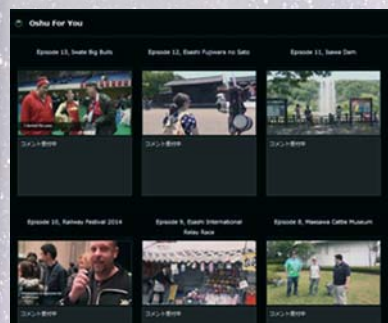
市ホームページに、医療や災害などに関する情報を英語でお知らせする「Oshu City Living Guide」を開設しました。

トップページ左側のバナー（下図）からアクセス可能。今後、内容の充実を図っていきます。



医療ボランティア養成講座の様子

ティアを養成・登録しています。県立胆沢病院、総合水沢病院と協定を結び、受診の際にボランティアが同行して医師や受け付けとの通訳を行う「医療通訳システム」の運用により、外国人が安心して医療を受けられる環境の整備を進めています。



現在 13 本の動画を公開中

世界中から集まる研究者などに本市を紹介するため、地域に住む外国人が英語で本市の観光スポットなどをPRする動画「Oshu for You」を作成し、動画投稿サイトYouTubeで順次公開しています。これまで日高火防祭や胆沢ダム、えさし藤原の郷などをテーマにした動画を公開。今後も市内のイベントやスポットを世界に向けて発信していきます。

## 動画「Oshu for You」

## ILC国際化推進員などによる講演活動

広報おうしゅうで隔月掲載している「あんなことこんなこと」でお馴染み、トマス・アンナILC国際化推進員による講演などを随時実施しています。27年11月27日には、水沢青年会議所の会員を対象にILCが実現したときに国際化に向けて考えるべきポイントをお話ししました。

また、市はILC計画の内容と、ILCが地域にどのような影響を与え、私たちがどのように関わっていくべきなのかなどについて市民の皆さんに理解していただくため、出前講座を実施しています。興味がある、話を聞いてみたいという場合は、お気軽に市ILC推進室へお問い合わせください。



トマス・アンナ推進員

## ILC 年賀ハガキを作成しました

年始のご挨拶で受け取った人もいらっしゃると思いますが、いわてILC加速器科学推進会議では、ILCの普及啓発を目的とした28年お年玉付き年賀はがきを作成しました。裏面に北上山地の写真やILC実現に向けたメッセージが印刷されており、新年の訪れとともにILCをPRしました。ことしもみんなでILCを盛り上げたいきましょう！

